

その他ア

令和3年度第1回安芸津歴史民俗資料館ミニ企画展の開催について

1 趣旨

市民の方に郷土の文化財の魅力・価値について再認識してもらうことを目的に、安芸津歴史民俗資料館を活用し、企画展を開催しようとするものである。

2 名称

三浦仙三郎と安芸津の酒造り

3 会場

安芸津文化福祉センター3階 安芸津歴史民俗資料館

4 会期

令和3年10月23日（土）～11月26日（金）

10時から16時30分（入館は16時まで）

※解説会を行う土曜日を除いて、土日祝日は休館

5 解説会の日程

令和3年10月23日（土）・30日（土）

①11時00分～11時30分

②14時00分～14時30分

6 入館料

無料



三浦仙三郎



市重要文化財
赤液温度計

7 展示内容

江戸時代の安芸津には広島藩の御蔵所が置かれ、賀茂郡と豊田郡の年貢米が集められる地域だった。明治初期に納税が米納から金納に改められると、米は純然たる商品となり、これを利用する酒造家が急増した。しかし、三津村一帯の水は発酵の遅い軟水であり、酒ができる前に腐らせたり、売る前に酒を腐らせたりして失敗することが多かった。

この問題を解決したのが三津の三浦仙三郎で、三浦は失敗の原因が軟水と衛生管理にあることを突き止め、軟水に適した清酒醸造技術を編み出した。三浦が研究の際に用いた赤液温度計には、酒造の各工程の適温が示されており、三浦が科学的な酒造りを行っていたことを示す貴重な資料として市の重要文化財に指定されている。

さらに三浦は、この酒造法を『改醸法実践録』にまとめて頒布し、安芸津だけでなく、広島県全体の酒造業の発展に多大な貢献をした。

今回の企画展ではこの「三浦仙三郎と安芸津の酒造り」をテーマに、市指定重要文化財の「三浦仙三郎酒造関係資料」を取り上げつつ、その歴史について解説と展示を行う。

安芸津歴史民俗資料館ミニ企画展

三浦仙三郎と

安芸津の酒造り



令和3年

10/23 (土) ▶ 11/26 (金)

◎ミニ企画展

- ・会 場：安芸津歴史民俗資料館
東広島市安芸津町三津4398番地
※安芸津生涯学習センターで受付の上、
2階渡り廊下から安芸津文化福祉センター
3階の会場へご入場ください。
- ・開 館：10:00～16:30（入館は16:00まで）
※解説会を行う10月23日及び30日以外の
土曜日と、日曜・祝日は休館日ですので
ご注意ください。
- ・休館日：土曜日・日曜日・祝日
- ・入館料：無料
- ・来館の際は必ずマスクを着用し、名簿への
記入・消毒等にご協力ください。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況により
臨時休館や入場制限を行う場合があります。
- ・お問い合わせは東広島市教育委員会
文化課まで。 ☎082-420-0977

◎土曜開館・解説会

- ・日時：令和3年10月23日(土)・30日(土)
10:00～16:30(入館は16:00まで)
解説①11:00～11:30
②14:00～14:30
- ・受付：安芸津生涯学習センター
- ・料金無料 事前申込不要
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況に
より、延期・中止になる場合があります。

